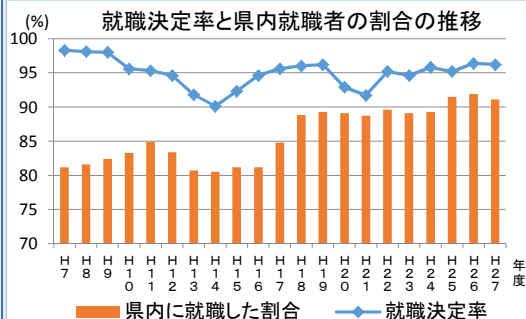


県立高等学校における「滋賀を支える職業人」の育成

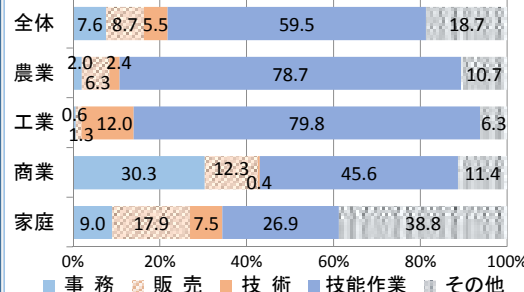
資料1

現状

○高校卒業者の就職者のうち、県内で就職した者の割合は、91.1%(H28年3月)



学科別職種別就職決定者の割合(H28年3月)



県内に就職する割合は高いものの学科で学んだ関連職種への就職は学科により差がある。

○少子高齢化の中で、滋賀県も人口減少局面に
(2014年10月1,416,500人
→2050年には約130万人)

目指す人材

- 課題解決に向けた思考力・判断力・表現力を備えた人材
- イノベーションを創出し、新たな価値を創造できる力を持った人材
- 専門学科等で習得した高い技術力や販売力を実社会で活用できる人材
- 情報発信力や連携力などに必要なコミュニケーションスキルを身に付けた人材

滋賀を支える職業人

地域の第一線で活躍できる人材

地域に貢献でき、活躍できる自分を知る

高等学校

起業家精神の醸成

社会人基礎力の育成

高度な専門技能の習得

地域で自分を知る

中学校

将来の生き方を考える

勤労観の育成

地域を知る

小学校

社会性、自主性、自立性の育成

地域に触れる

就学前

人とのかかわる力の育成

【地域のひととの関わり】

高齢者との交流
働く人との触れ合い

【社会とのつながり】

職場訪問
社会見学
自然体験活動

【人間関係形成】

異年齢集団活動

中学生チャレンジウィーク

【職場体験】

地元企業を中心に5日間で実施

【職業理解】

職業調べ

【進路研究】

高校調べ
体験入学

【社会貢献】

ボランティア体験

今後の方向性

グローバル化への対応

○海外実習(海外インターンシップ)

新しいビジネスモデルの構築

○地場産業の再興と六次産業化

○地元食材を生かした商品開発

新エネルギーへの対応

○再生可能エネルギー装置の開発

ICT技術の活用

○ICTを用いた新技術の開発

○ネットビジネスの展開

○滋賀ブランドの効果的な情報発信の研究

専門高校プロフェッショナル人材育成事業

- 大学や研究機関、地域産業の知や技術を活用した研究開発の推進
- 特色あるカリキュラムの研究
- 高度な資格取得

【商品販売】

近江商人再生プロジェクト、農産物生産販売、地元企業の商品をネット販売 等

【地元食材を活用した商品開発(滋賀ブランド)】

忍者バーガー、アドベリー、近江牛肉味噌、近江野菜のうま飯ディップ 等

【地域の活性化につながる取組】

環境こだわり米の栽培、伝統作物アオパチの栽培や商品開発、絶滅危惧種ムササギの栽培 等

【新たな産業の創造】

高校生レストラン(六次産業化) 等

【地元に参加する取組】

防災かまどベンチの設置、河川の水質保全、地元自治会の公園整備 等

【高度な資格に挑戦】

技能検定2級、日商簿記検定1級、情報処理技術者試験、税理士試験 等

県立学校キャリア形成支援事業

- キャリア教育のカリキュラム作成
- 就業体験の効果的な活用
- 社会人基礎力の育成

【就業体験(インターンシップ)】

農業法人や製造・建設業、事務・販売職、福祉施設等専門教育関連企業 等